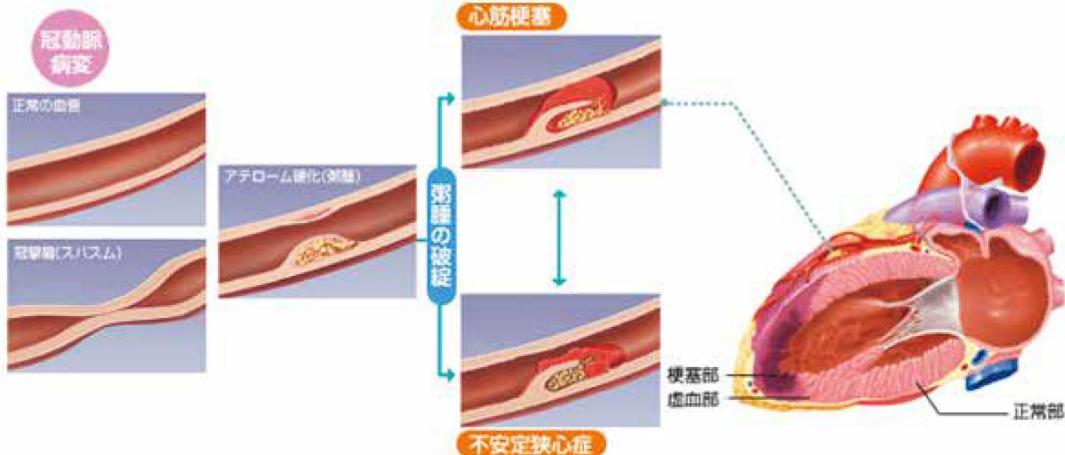


# 狭心症と心筋梗塞

副院長 兼循環器内科部長  
**富田 威**



皆さんは、以下の項目で当てはまることがありますか？

- ①たばこを吸っている。
- ②血圧が高い
- ③糖尿病と言われている
- ④コレステロール 中性脂肪が高い
- ⑤尿酸値が高い
- ⑥血縁者に狭心症や心筋梗塞の方がいる
- ⑦太り気味である
- ⑧ストレスが多い生活を送っている

以上は心筋梗塞や狭心症（これらは虚血性心疾患と言います）の原因（危険因子）と言われています。もしこれらが1つでも当てはまれば心筋梗塞や狭心症を発症する危険があります。当てはまる項目が多い人ほど要注意です。放置すれば、どんどん動脈硬化が進行しますので適切に治療するか生活習慣を改める必要があります。逆に、これらが1つも当てはまなければ、虚血性心疾患のほか、動脈硬化によって生じる脳卒中や閉塞性動脈硬化症を発症する可能性は低くなります。

次に以下の項目で当てはまることがありますか？

- ①階段や坂道を登ると胸が締め付けられるように痛む
- ②上記症状に加え肩が痛む、歯が痛む
- ③発作が徐々に頻繁になつた
- ④症状の持続時間が長くなつた
- ⑤冷汗が伴うようになった
- ⑥就寝中や朝方に胸が締め付けられるよう痛む
- ⑦痛みは瞬間的か数秒以内で治まる
- ⑧深呼吸によって痛みが増減する
- ⑨痛み部位が限局的で、抑えると痛みが増強する
- ⑩痛みに沿つて赤い発疹ができる

次に胸痛の特徴として以下の項目が当てはまりますか？

状がでることはありません。

- ①痛みは瞬間的か数秒以内で治まる
- ②深呼吸によって痛みが増減する
- ③痛み部位が限局的で、抑えると痛みが増強する
- ④痛みに沿つて赤い発疹ができる

このように狭心症の診断は問診がとて

ります。他の病気を疑います。たとえば肋間神経痛です。（4）は帯状疱疹の可能性がありますので皮膚科受診が必要です。

このように狭心症の診断は問診がとて大切です。ご自身や家族で心配な方がいましたら病院を受診するように勧めてください。病院では、心電図や血液検査、心臓超音波検査、運動負荷検査を行うことで疑いを強めていきます。さらに最近ではCT検査を行い、狭窄血管を特定することも可能ですが、最終的には入院で冠動脈造影検査を行います。次回は狭心症や心筋梗塞の検査・治療を説明します。